各　位

平成 25 年 10 月 25 日

会　社　名　　日 本 電 子 材 料 株 式 会 社
代　表　者　　代表取締役社長　風間 悦男
（コード番号　6855　東証１部）
問 合 せ 先　　取締役　管理部門統括部長　足立 安孝
電　　話　　０６（６４８２）２００７

業績予想の修正に関するお知らせ.

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．業績予想の修正

(1)平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,980	△50	△70	△150	△14.16
今回修正予想（B）	4,620	35	65	15	1.42
増減額（B－A）	△360	85	135	165	
増減率（%）	△7.2	―	―	―	
（ご参考）前第 2 四半期実績（平成 25 年 3 月期第 2 四半期）	5,712	119	76	△56	△5.32

(2)平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,800	300	240	40	3.78
今回修正予想（B）	9,200	100	120	30	2.83
増減額（B－A）	△1,600	△200	△120	△10	
増減率（%）	△14.8	△66.7	△50.0	△25.0	
（ご参考）前期実績（平成 25 年 3 月期）	11,213	12	49	△172	△16.32

2．修正理由

当第 2 四半期連結累計期間における、当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、メモリーＩＣの半導体工場における設備投資が再開された一方で、国内半導体工場の閉鎖や大手半導体製造装置メーカーの経営統合が発表される等、厳しい事業環境を背景に先行きへの不透明感が増しました。

当第 2 四半期連結累計期間における売上面につきましては、ＮＡＮＤ型フラッシュメモリー向け需要が緩やかな回復基調となったものの、ロジックＩＣ向けの受注が伸びず、全体として本格的な需要の回復には至らなかった為、当初の予想を下回る見通しとなりました。一方、利益面につきましては、ＶＡ活動による原価低減や経費削減によるコストダウンを押し進めた事に加え、為替レートが円安傾向で推移した結果、予想を上回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましても、依然としてロジックＩＣ向けを中心に足元の需要は回復しておらず、第 2 四半期累計期間の業績動向、及び今後の見通しを踏まえ通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、配当につきましては年間 1 株当たり 8 円（第 2 四半期末 4 円、期末 4 円）の予定に変更はありません。

注）上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上